

第61期 事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。
(平成23年6月1日より平成24年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

○「自然科学書フェア」と連携を図り、「自然科学書協会講演会 2011」を大阪で開催した(文部科学省後援)。出席者61名。

- ・日時：平成23年9月18日(日) 13:00～16:00
- ・会場：阪急ターミナルスクウェア・17
- ・演題：「クニマスは生きているー伝説から科学へー」
- ・講師：中坊徹次氏(京都大学総合博物館教授)
- ・演題：「ロボットが環境適応能力を持つにはーなぜ小さなアリが大きな蟻塚を作れるのかー」
- ・講師：大須賀公一氏(大阪大学大学院工学研究科教授)

○サイエンスカフェを開催した(三省堂書店と共催)。出席者25名。

- ・日時：平成23年9月10日(土) 15:00～16:10
- ・会場：三省堂書店神田神保町本店 UCC カフェコンフォート
- ・演題：「宇宙生命は存在するか ～天文学からのアプローチ～」
- ・講師：渡部潤一氏(国立天文台天文情報センター広報室長)

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

○文字・活字文化推進機構の活動に協調し、日本書籍出版協会をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。

○自然科学書フェアを開催した。

「リファレンスブック」をメインに「ハンドブック」「図鑑」をサブタイトルに加えて大阪の紀伊國屋書店梅田本店で開催した。出展社は43社であったが、紀伊國屋書店の好意で各社5銘柄までという上限をはずしたため、前年比180点増の291点を展示することができた。

- ・期日：平成23年9月9日～10月10日
- ・会場：紀伊國屋書店梅田本店 ・参加社数：43社
- ・出展点数：291点
- ・出品冊数：1145冊

また、2012年は丸善博多店で「古典・最新刊が誘う自然科学の世界」というテーマで開催した。

- ・期日：平成24年5月1日～6月27日
- ・会場：丸善博多店
- ・参加社数：42社
- ・出展点数：209点
- ・出品冊数：972冊

○第18回東京国際ブックフェア（TIBF2011）に出展し、自然科学書の普及を図った。

当協会は例年どおり後援し、展示・販売のためのブースを展開した。東日本大震災と福島原発事故によって開催が危ぶまれたものの、むしろ復興支援を前面に押し出した取組みが必要との判断から当協会も出展した。前年に引き続き、4,000円以上の購入者に、抽選で500円の図書カードをプレゼントするサービスを行ってブースを盛り上げた。

- ・期日：平成23年7月7日～7月10日
- ・会場：東京ビッグサイト
- ・参加社数：62社
- ・出品冊数：3,162冊
- ・総売上げ冊数：442冊

○海外のブックフェア等に出展し、わが国自然科学書の海外への普及を図った。

- ・第18回北京国際図書展示会（BIBF2011）に出展した。

当協会からは、日本事務局であるトーハン経由で、共同ブースの自然科学書コーナーへ17社110点が出品された。共同ブース展示及び数社の単独ブースも含めて、著作権のオファーも活発であった。会員社発行の出版物、自然科学系各団体の目録と各出展社独自の目録を展示し、目録は残らず配布された。

- ・期日：2011年8月31日～9月4日
- ・会場：中国国際展覽センター

- ・第63回フランクフルトブックフェア（FBF）に出展した。

出版文化国際交流会の、当協会・出版梓会・大学出版部協会の共同ブースに、20社41点が出品された。

- ・期日：2011年10月12日～10月16日
- ・会場：フランクフルトメッセ

○英文会員名簿並びに和文会員名簿を、ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに配布し、協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権法における出版者の権利保護のための活動を行った。

- ・日本書籍出版協会，日本医書出版協会などつながりの深い団体と協力し，出版社の権利としての「著作隣接権」の確立に向けて努力した。
- ・出版者著作権管理機構（JCOPY）との連携を強め，日本複製権センター（JRRC）との使用料規程改定に向けた調整を行った。
- ・デジタル化，ネットワーク化に伴う著作物の多様な利用に対応すべく，著作権保護に努めた。
- ・平成 23 年度文化庁委託事業「学術用途における権利制限の在り方に関する調査研究」の調査の過程に絶えず関心を抱き，会員社に逐次報告し，問題点を訴えた。
- ・日台，日韓での著作権行政についての要望・質問事項，著作権侵害事例などを文化庁に提出するよう会員社に呼びかけを行った。

○著作権知識の正しい理解と普及のための活動を行った。

- ・日本書籍出版協会，出版者著作権管理機構（JCOPY）をはじめ，出版関係諸団体と協力して，複写権処理機構の一本化に向けて努力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰

○平成 24 年度文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員各社から当該表彰候補を募り文部科学省に 1 件推薦したが，今年度の受賞は見送られた。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第 14 回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し，講演会を開催した。

- ・日時：平成 23 年 11 月 17 日（木） 16：30～18：00
- ・会場：日本出版会館
- ・演題：「デジタルメディアの影響と出版産業の方向性」
- ・講師：星野 渉氏（株式会社文化通信社 取締役編集長）

○会員研修会を開催した（出版梓会と共催）。参加者 23 社，41 名。

- ・日時：平成 23 年 11 月 8 日（火） 15：00～17：00
- ・会場：日本出版クラブ会館
- ・演題：「図書館電子化の現在」
- ・講師：竹内比呂也氏（千葉大学文学部教授兼附属図書館長兼アカデミックセンター長）

盛田 久氏（大日本印刷株式会社教育・出版ソリューション本部学術情報提供ビジネス準備室室長）

○会員研修会を開催した（土木・建築書協会と共催）。参加者 29 社，49 名。

- ・日時：平成 24 年 5 月 21 日（月） 15：00～17:00
- ・会場：日本出版クラブ会館
- ・演題：「大学図書館と専門書出版社」
- ・講師：逸村 裕氏（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授兼附属図書館副館長）

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を年 4 回発行した（平成 23 年 7 月，11 月，平成 24 年 1 月，4 月）。

- ・主な記事は次の通り。

理事会の動向や決定の周知／各専門委員会の活動報告／講演会の要約／各分野有識者の自然科学に関するエッセイ／国際ブックフェアの報告など

- ・自然科学知識の普及，当協会の活動の告知，会員増強などのために，会報を日本出版クラブ会館ロビーなどに置くほか，各関連団体等へも送付した。平成 23 年 7 月号は東京国際ブックフェア会場（7 月 7 日～10 日，東京ビッグサイト）にて一般向けに 900 部配布した。

○ホームページを常に最新の状態にして，外部への情報発信を行った。

- ・協会の概要を掲載し，常に更新した。
- ・会報の PDF 版を掲載した。
- ・「自然科学書協会講演会 2011」の案内を掲載した。
- ・「東京国際ブックフェア 2012」の案内を掲載した。
- ・当協会が主催もしくは関係した行事の内容を当協会のホームページの「ニュース・お知らせ」に掲載し，広く告知を図った。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○当協会の再販制度に対する基本姿勢は，過去 2 回にわたる廃止反対声明で明らかになようにあくまでも「維持」を原則としている。しかし，流通改善・弾力運用を含む取組みが強く求められていることを受け，東京国際ブックフェア（TIBF）の会場において，会員社による一部割引販売などを行った。

○少子・高齢社会の税制のあり方として，消費税率の引上げが検討されているが，当協会では専門書出版の特性や科学技術の振興・普及に果たす役割の大きさに鑑みて，特に軽減税率の適用を強く要望している。このような趣旨に沿った要望書案を作成し，平成 23 年 7 月 20 日に政府及び各政党の税務調査会などに提出した。

- 一般社団法人へ移行のための実務作業を進めた。
 - ・新日本有限責任監査法人，宗和税理士法人の指導の下，一般社団法人への移行手続きを行った。
 - 平成 23 年 10 月 28 日 一般社団法人への移行申請書を内閣府に提出。
 - 11 月 15 日，平成 24 年 2 月 21 日 内閣府よりそれぞれ連絡があり，書類・定款の修正を行う。
 - 3 月 2 日 内閣府より申請書類の確認終了の連絡。
 - 5 月 22 日 内閣府にて「一般社団法人」移行認可書を受領。
 - [6 月 1 日 「一般社団法人 自然科学書協会」の登記を行う。]
 - ・移行登記に必要な諸規程（会員規程，委員会規程，会計処理規程，文書管理規程，公印使用規程，70 周年記念事業資金取扱要領）の見直しを行った。理事会の承認を得て，文部科学省に提出した。

- 出版業界で行う諸事業（全出版人大会の開催，出版平和堂の活動など）に協力した。
 - ・平成 24 年 5 月 6 日に，第 51 回全出版人大会がホテルニューオータニで開催され受付業務などの協力を行った。
 - ・平成 23 年 10 月 7 日に，出版平和堂第 43 回会記者顕彰会が執り行われ，当協会は出版平和堂維持団体として運営に協力した。

- 当協会の活動を業界紙などに報道してもらうように積極的に働きかけ，当協会の活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上